

「ALIVEプロジェクト」の最終提案発表を開催 ～都市部若手企業人材（+市若手職員）による地域課題の解決～

令和5年12月20日
京丹後市役所

市は、一般社団法人ALIVEが実施する日本最大規模の“越境学習型 次世代リーダー育成プログラム”「ALIVEプロジェクト」の答申先（テーマを提示して、回答を得る団体）として、地域課題解決に向けた取組を実施してきました。

この度、市が提示したテーマに対して、地域へのヒアリング等によるフィールドワークで解決策を模索してきた4チームが、最終提案発表（解決策）を実施しますのでお知らせします。

1. 最終成果発表会

- 日 時：12月22日（金） 午前10時15分プレゼン開始
- 場 所：京丹後市峰山庁舎 201・202 会議室
- 開催方法：オンライン（上記会議室から、接続）
- 参加者：中山市長、濱副市長
※研修参加者（市職員含む）はオンラインで参加
- プログラム：
 - 10時15分 最終プレゼン（1チーム12分発表・10分質疑 ×4チーム）
 - 12時00分 昼食（休憩）
 - 13時30分 プレゼン結果発表・講評

2. 市が提示したテーマ

ふるさと納税を有効に活用して、丹後ちりめん・祭・健康長寿など、独自で豊かな京丹後の地域文化を未来に紡いでいく
～3年後に地域版ふるさと納税を年間2億円以上の寄附を集めるために、今年のプロジェクト4つを来年100%達成する方法を提案せよ～

3. 当プロジェクトの参加者等

○参加者： 4チーム16名（都市部企業から12名、市から若手職員4名）

○都市部企業：

（株）アイシン、野村総合研究所、（株）アヤハディオ、NTT ビジネスソリューションズ、大和ハウス工業、サントリーフーズ、DSB 情報システム、カルビー（株）、NRI デジタル、エプソン販売（株）

4. これまでの経過

開催日等	内容
Session 1	テーマ理解
10月3日	【オンライン実施】 顔合わせ、チームビルディング
Session 2	課題の本質を探る
10月12日 ～13日	【京丹後市で実施】 ・ フィールドワーク（久美浜一区自治会、久美浜二区振興会、佐濃自治会のヒアリング等） ・ ショートプレゼン（課題の設定、解決の方向性）
Session 3	提案をまとめる
11月15日 ～16日	【京丹後市で実施】 ・ フィールドワーク（野間自治会のヒアリング等） ・ 中間プレゼン（課題と解決策）
Session 4	提案を伝える
12月22日	【オンライン実施】 ・ 最終プレゼン（最終の課題と解決策） ・ 結果発表

【問い合わせ先】

京丹後市商工観光部商工振興課

担当：上田

TEL 0772-69-0440 / FAX 0772-72-2030

異業種混合型リーダーシップ開発プロジェクト ALIVEプロジェクト



一般社団法人

ALIVE

Leader In Vuca Environment



庄司 弥寿彦

一般社団法人ALIVE 代表理事
 株式会社100DIVE 代表取締役
 (合)CONNECTIVE 代表社員
 (一社)OTD普及協会 代表理事

1995年サントリー株式会社入社。人事マネージャー時に、ALIVEの前身となる次世代リーダー研修「モルツ・プロジェクト」を企画。その際、「社会的団体の想いに、ビジネスのリソースをつなぎ、変化を巻き起こす」ことをライフワークとして強く認識する。2017年ALIVEを发起人として立ち上げ、その後異動した駐在中のNYから参画。2018年4月サントリーを退社しALIVEの代表理事に就任。5月社会課題解決等のプロジェクトマネジメントの受け皿として合同会社CONNECTIVE創立。2019年5月、東大バリアフリー教育開発研究センターと一般社団法人組織変革のためのダイバーシティOTD普及協会設立、代表理事就任。2021年10月、株式会社さとゆめと株式会社100DIVE設立、代表取締役CEO就任。

日本最大規模の 異業種混合型社会課題解決プロジェクト

～ ALIVE ～

【答申先】



【参画企業(一部)】



ソーシャル
42団体

ビジネス
のべ155社(56社)
計735名

コンセプト

人に眠る可能性を呼び起こし、 社会の課題を解決する。

企業ではたらく社会人、地域で生活する人、伝統文化を守り続ける人。
それぞれが混ざり合い、関わり合いながら、徹底的に課題に向き合う。
多様性に溢れるチームだからこそ、異なる意見やアイデアが飛び交う。

ときには、感情的にぶつかることだってある。
でもそれは、きっと本気で向き合っている証。
だからこそ、普段では味わえない学びがある。

そのプロセスを通じて、自分に眠る可能性を、とことん呼び起こしてほしい。
どんな時代にも、環境変化にも通用する、リーダーシップを育ててほしい。
そしてその可能性を、社会の役に立つことに発揮してほしい。

そんな思いから、この活動は生まれました。



実施概要①

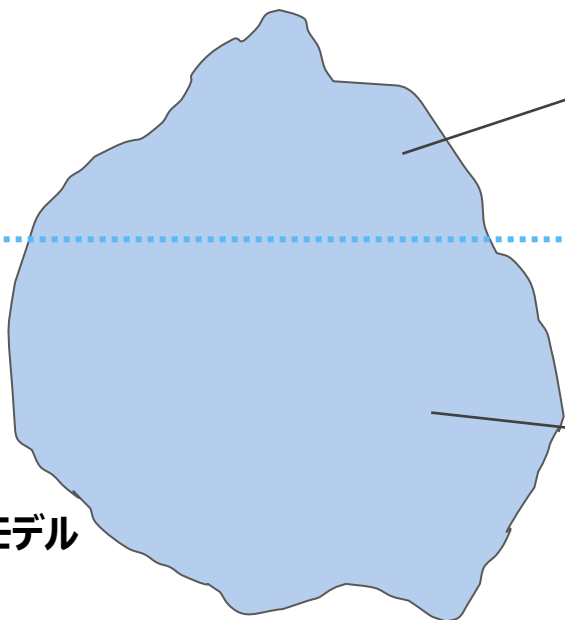
目的

- ①リアルな社会課題への貢献
- ②リーダーとしての覚醒（リーダシップ開発）

対象 (1回あたり)

- ・7~10社 計60名程度を想定（構成：4名×15チーム）
- ・各社の次世代リーダー／リーダー候補（年齢不問）

冰山モデル



a.異業種混合ダイバーシティチームでリアルな課題解決に取り組み、成果を出す。

b.個人の成長。振り返りを通じて自身の強み/弱み/思考の枠組み/周囲への影響力などを自覚化する。

実施概要②

約2ヶ月半の期間で全4回(計7日間)のセッションを実施。Session1～4を通して、「チームビルディング⇒フィールドワーク⇒最終提案⇒振り返り」までを行う。

Session 1	Session2	Session3	Session4
<ul style="list-style-type: none"> ・顔合わせ ・答申先テーマ理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の本質を見つける ・提案の方向性をだす 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案をまとめる！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案を伝える！ ・3カ月を振り返る
全体/東京&大阪	テーマ別/各地(2日間)	テーマ別/各地(2日間)	全体/東京&大阪
<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・導入 (目的・スタンス合せ) ・チームビルディングランチ ・リフレクションの練習 ・答申先からの課題発表 ・今後の進め方決める ・懇親会 	「テーマ担当により設計」	「テーマ担当により設計」	(1日目) <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング ・提案プレゼンテーション ・最終評価発表 ・フィードバック (2日目) <ul style="list-style-type: none"> ・最終リフレクション

最終プレゼンまでのイメージ



Session1
スタート！
テーマ理解

■ **テーマプレゼンテーション**
テーマ提供先から課題認識と期待を発表



Session2
課題の本質を
探る

■ **ショートプレゼン (2日目)**
現時点での「①課題 ②解決の方向性」発表



Session3
提案を
まとめる

■ **中間プレゼンテーション (1日目)**
現時点での「課題と解決策」発表



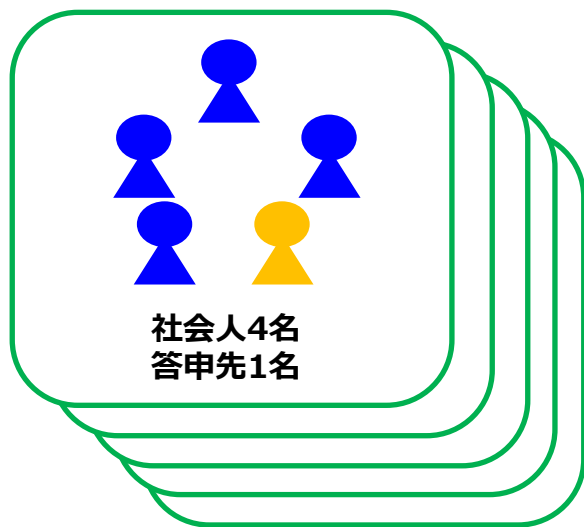
Session4
提案を
伝える

■ **最終プレゼンテーション (1日目)**
最終の「課題と解決策」発表

参加者の体制（イメージ）

「5名」×「5チーム」×「3テーマ」

【テーマA】



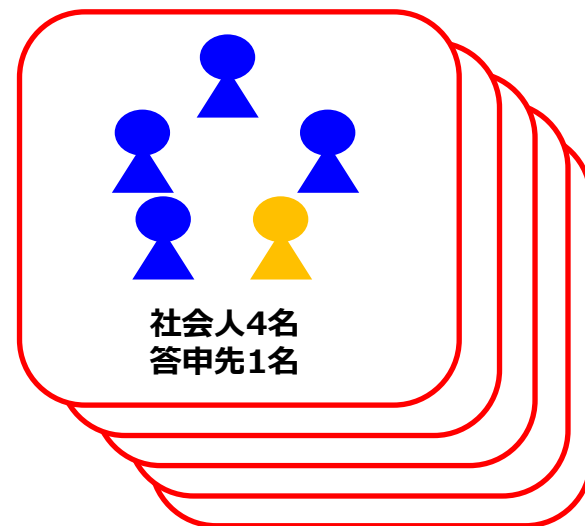
社会人20名 + 答申先5名

【テーマB】



社会人20名 + 答申先5名

【テーマC】



社会人20名 + 答申先5名

提供価値（参画企業）

① リーダーシップ開発

└ 徹底的なリフレクションによる、メタ認知力の強化

グループでの社会課題解決ワークを行いながら、自らの行動やあり方、チームへの影響力を、個人やチームで振り返ることで、**自身の強み&思考の傾向（クセ）を自覚化**することが可能。

└ 他流試合による多様性マネジメントの強化

普段の仕事とは離れた環境・テーマの中で、多様な価値観を持つダイバーシティなチームにおいて必要な、マインド・行動・コミュニケーションなどチームビルディングに必要なポイントを体験を通して学んでいただく。また、文化の異なる他社のリーダー人材と触れることで、様々な刺激を得ることも可能。

└ 課題設定力・解決力の強化

会社や上司から与えられたモノではなく、また、やりなれた仕事の延長線上での仕事でもなく、これまでの相対したことのない課題に向き合うことで、正解のない問いに対し“自らの意志と論”をもって、課題設定する・解決していくプロセスを経験いただきます。

② 人事部同士のつながり

他社人事部との協働・交流での情報交換・ナレッジシェアの機会として活用が可能。地域や、他事業者とのコラボレーションによるイノベーションの種の発掘も。

提供価値（テーマ答申先）

①自分たちでは調達できない**人的リソース**活用

普段は離れた場所で活躍する人材（企業で働く次世代リーダー）を
該当テーマで直面する課題をともに解決する仲間として活用することが可能に。
テーマ関係者の中にいないからこそその視点を取り入れながら、課題解決にむけた貢献を行う。

②**人材成長**（新しい視野・刺激）

テーマ関係者にとっても、普段接することのない人たちとの交流・プロジェクト協同を通して、
自分には無い視点、多様な価値観に触れ、学びの機会として活かすことができる。

★答申先からの参加メンバーも、企業の次世代リーダーと同様に振り返りを実施します（成長機会として）

③**魅力の再発見・再創作の機会創出**

外からの目線で地域をフィールドワークすることで、地域・団体資源の再発見、
再創作の機会になり新たな地域・団体の価値づけにつながる。

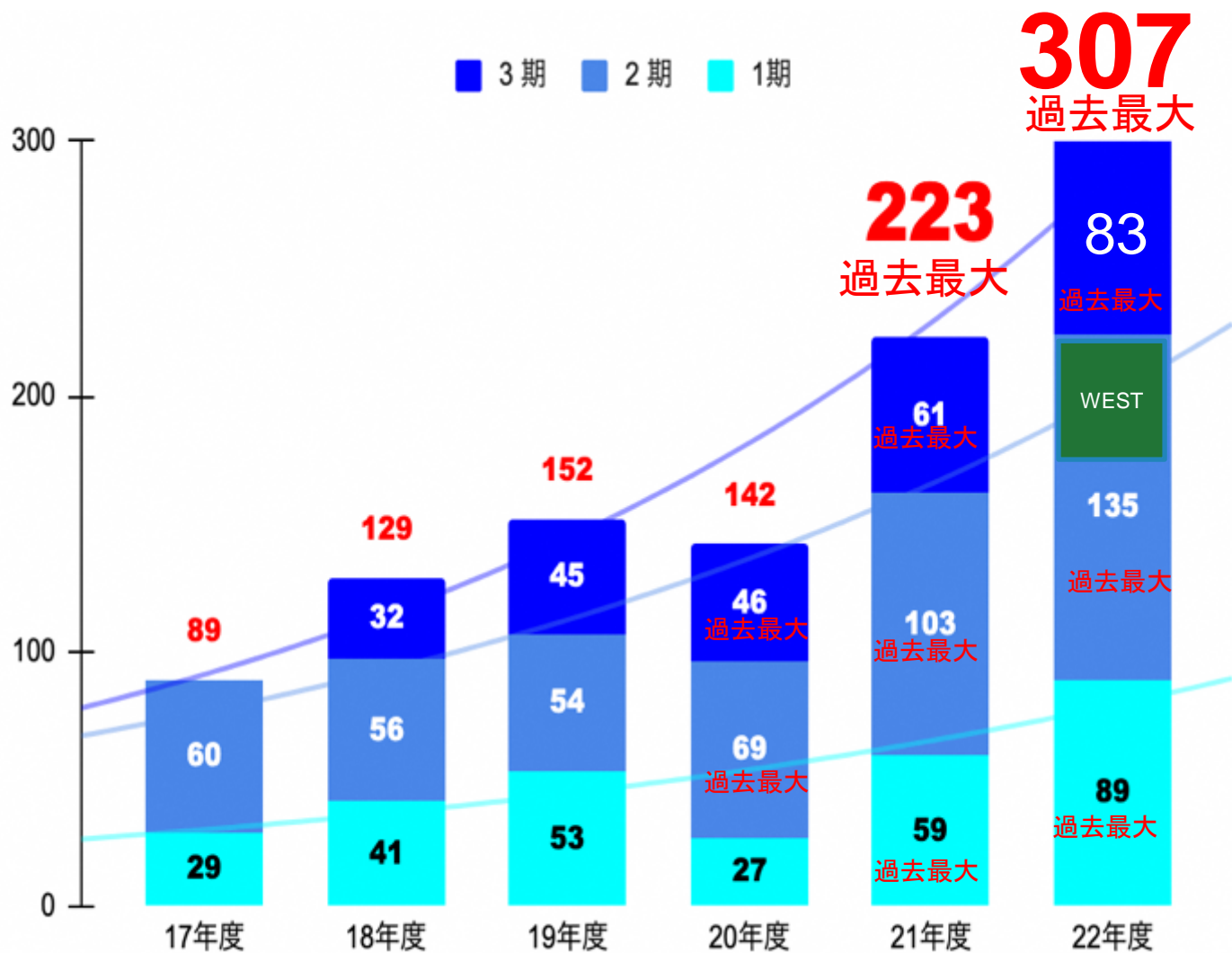
④**ファン獲得**

課題解決のプロセスを通して、その地域・団体のことを深く理解・自分事化し、移住や、定期的な来訪、
継続的な支援を行う人が増える可能性がある。また、口コミにより参加者のつながりから
その地域・団体を訪れる人が増える機会にもつながりやすくなる。

【ALIVEプロジェクトで大切にしたい考え方・価値観】

ALIVEを一言で表すと「社会をより良くする・そして、そこから学び合うプロジェクト」です。
様々な社会課題に、プロジェクトに関わる全員の知恵を結集させ、解決に向けて力を合わせます。
そして、その経験の中から普段の仕事に活かすための学びを育んでいただきます。
リアルな社会課題は、その問題の大きさや深さ、具体性も様々。正解は誰も知りません。
ケーススタディであるような何かしらの枠組みや、確からしい正解が用意されている、
一般的な「研修」とは異なり、参加者・事務局スタッフを含めそれぞれが役割を担いながら
正解のない課題に向かって模索していく、まさに「プロジェクト」です。
何が問題なのか、何が答えなのか、誰も教えてくれず、全ては「自分起点」で選択するのみ。
それはある意味、企業のルールや慣習、尊敬する上司や先輩が言う、
「正解」に慣れ親しんだ私たちにとっては怖いものかもしれません。
でも私たちは信じています。そこには必ず“学び”があるのだと。
自分の内側で起こる色々な葛藤、そしてもちろん異業種混合ならではの多様性を楽しみながら、
ぜひ一緒に頑張りましょう！

これまでの参加者数推移



これまでの参画企業

SUNTORY

JP POST 日本郵便

ITOKI

XNet

PERSOL
パーソルテクノロジースタッフ

PERSOL パーソルキャリア

NTT 東日本-南関東

USHIO

PERSOL パーソルテンプスタッフ

Waris

Hakuhodo DY
media partners

NRI 野村総合研究所

JAL JAPAN AIRLINES

おいしさと健康
Glico

東京都

Nestlé
Good Food, Good Life

TEIJIN

YOKOGAWA

GLOBAL BRIDGE

TERUMO

ADASTRIA
Play fashion!

CELM

東急

trans cosmos
transcosmos technology

KAO
きれいをこころに 未来に

Canon
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

EPSON
EXCEED YOUR VISION

JAPEX

空気をかえよう
イステー

HASEKO

Jatco

NTT 西日本

綾羽

ABC TV

振りだそう、自然の力。
Calbee

HiKOKI

"暮らしやすい"をデザインする
KUL

住友林業

Daiwa House

三菱マテリアル

	ALIVE East (関東)			ALIVE West (関西)		
						
仮 テ ー マ	“社会課題団体”と “企業”の連携さらに 増やしていくための新 たな仕組みとは？	約450ある無書店地域 の自治体で「まちの本 屋」を復活・再生させ る仕組みとは？	人口3000人の町の川 辺スペースを活かした 観光客の受け入れ戦略 とは？	障害者も含めてみんな が自分の特性をそのま ま受け入れ合える社会 へ。	地域に開かれた学生寮 を基点としたまちづく りの仕組みをつくる	企業版含めたふるさと 納税を獲得。伝統 ある町と産業を未来 に紡いで行く
答 申 先	ICHI COMMONS 株式会社	BOOK STORE SOLUTION JAPAN	一般社団法人 東栄町観光 まちづくり協会	美キャリア 株式会社	合同会社 よかごつ	京都府 京丹後市

	EAST（関東エリア）			WEST（関西エリア）	
					
テーマ※仮	山手線内に1万人の村を作る！ 「働く」「学ぶ」「暮らす」「育てる」の新しい形を提案する、都内唯一のコミュニティ	誰もがCPR（心肺蘇生法）できる社会に！ ～3年で100社に新・救命講習が導入される仕組みを作る～	スノーシーズン依存からオールシーズン型観光への転換と関係人口の創出	2040年時点でも人口5000人をキープする ～良い意味で変態が集う町智頭をもっと元気に～	～障害の有無や他の違いを超えて、誰もがともに生きる社会をつくる～ スポーツや農業を通じて自分の可能性に出会うため淡路島のMUKU Farmに人を呼び込む
答申先	RYOZAN PARK	一般社団法人ファストエイド	株式会社メルト（長野県小谷村）	鳥取県智頭町	特定NPO法人MUKU

これまでの答申先とテーマ

これまでの答申先とテーマ

2030年までに、台湾インバウンド宿泊客
で5000人のリピートを獲得する施策とは

山形県小国町

途上国の子どもに "移動映画館" を届ける
ための 持続可能な収入源を確保せよ

NPO法人ワールドシアタープロジェクト

3x3世界大会の機に、子供たちがゴール
に自然と集まってくる宇都宮を作るには

WORLD TOUR UTSUNOMIYA実行委員会

子どもを持つ女性がいきいき輝くため
に、法人向け事業モデルを構築せよ

一般社団法人 育勉普及協会

サンタの「なり手」を継続的に確保し続
ける仕組みとは

NPO法人 チャリティーサンタ

2030年までに関係人口を100万人にする
ための補助金に頼らない新しい仕組みと
は

新潟県佐渡市

2020年までに顧客企業と実習の場を確保
し続ける仕組みを構築せよ

NPO法人 Future Dream Achievement

魚津ならではの資源を活かし利益をもた
らし続ける仕組みとは

富山県魚津市

「地域共生型映画館」を活用した新規事
業を立案せよ

株式会社シーズオブウィッシュ

補助犬同伴拒否0を実現させる施策とは

特定非営利活動法人 日本補助犬情報センター

「700人の村が1つのホテルに」の実現に
向けた企業と地域の共創アクションプラ
ンづくり

NIPPONIA 小菅源流の村

祭り文化を次代へ継承する仕組み構築～
未来を見据えたうえで2022年までに地元
の担い手とやるべきことを提案せよ～

一般社団法人・マツリズム